

【 講 師 】

鎌ヶ谷総合病院千葉神経難病医療センター・センター長
神経内科医

湯浅龍彦 先生



詳細は裏面をご覧ください

主催 鍼灸学会 Tokyo

令和 4 年度
第 3 回学術研修会

【講演テーマ】

パーキンソン病と腸脳相関
:量子と鍼灸



日時：令和 4 年 12 月 4 日(日) 13:00~15:00

一般参加費：5,000 円 (鍼灸学会 Tokyo 会員は無料)

会場：オンライン開催 (Zoom)

申込締切：2022 年 11 月 27 日(日) 定員 100 名

一般申込 URL：<https://www.sgtokyo.org/event202212>

※) 会員は別途案内をお送りしますので申込不要です。

新規入会された場合も参加費は無料となります。

(但し、申込締切りまでに入会手続きと会費 4,000 円の納入をお願いします)

入会希望の方は鍼灸学会 Tokyo ホームページよりお申し込みください。

URL：<https://www.sgtokyo.org/>

(右の QR コードからもアクセスできます)



講演テーマ「パーキンソン病と腸脳相関:量子と鍼灸」

【背景】

パーキンソン病(PD)には、運動症状と非運動症状がある。前者には、固縮、振戦、無動、姿勢保持障害があり、後者には、様々な自律神経症状、精神症状、睡眠障害、慢性疼痛などが含まれる。但し、これらが一斉に現れるのではなく、便秘は PD 発症の 20 年も前から生じる重要な予兆であり、そして発症の危険因子である。宿便が続くとある日突然動けなくなることもある。

【目的】

本講演では、PD にとって便秘が如何に大敵であるかからはじめて、前段では、ヒトの生命活動、脳活動が腸内細菌叢に深く依存する実態(腸脳相関)を解説する。続く後段では、生命の基本である細胞、遺伝子と分け入る時、最後に到達する最小単位である量子力学の世界を覗いてみて、鍼灸が如何に生命を支える基本的手技であるかの理由を考えてみたい。

【講師紹介】



鎌ヶ谷総合病院
千葉神経難病医療センター・センター長
神経内科医

湯浅龍彦 先生

【略歴】

昭和 39 年 県立松江北高等学校卒
昭和 45 年 信州大学医学部卒
学位: 医学博士(971 号) 新潟大学
平成 元年 新潟大学脳研究所神経内科(助教授)
平成 4 年 東京医科歯科大学神経内科(助教授)
平成 7 年 NCNP 国府台病院(部長)
平成 17 年 徳島大学臨床教授
平成 20 年 現職
社会活動 国立医療学会雑誌「医療」
元編集委員長
SGPAM(予防鍼灸研究会)顧問

タイムスケジュール

12:00 ~	Zoom open	
13:00 ~ 13:05	講師紹介	(5 分)
13:05 ~ 14:30	講演	(85 分)
[途中休憩あり]		
14:30 ~ 15:00	討論会	(30 分)

日時 2022 年 12 月 4 日(日) 13:00~15:00

会場 オンライン開催 (Zoom)

一般参加費 5,000 円 (鍼灸学会 Tokyo 会員は無料)

申込締切 2022 年 11 月 27 日(日)

※) 会員は別途案内をお送りしますので申込不要です。

主催 鍼灸学会 Tokyo

URL : <https://www.sgtokyo.org/>

